

より良い社会を目指して 「陣地戦」とは何か？

先の敗戦による失敗の教訓として「日本国憲法」を手にした結果、日本経済は、目を見張る成長を成し遂げることができました。しかし、90年のバブル崩壊の失敗からは、学ぶことが遅く「失われた30年」が経過しています。経済成長は、全ての人に「健康で文化的な生活」を保障するはずでしたが「格差・貧困」は一向に是正されない中で、環境の危機と民主主義の危機が続いています。このことは、政治の在り方がどうあるべきかに依拠しますが、人びとは政治への信頼を失って、投票率は低下傾向のままで推移しています。何故、日本社会がそうなったのか？私たちの、計り知らないところで何らかのベクトルが働いているのではないのでしょうか？そこで、今回は“より良い社会を目指して「陣地戦」とは何か？”について、講師に話題提供をして頂き、後半では“より良い社会を目指して”の意見交換「茶話会」を企画しました。どうかお気軽にご参加下さい。

話題提供：境 毅さん（生活クラブ京都エル・コープ）

生活クラブ生協は、生協法人取得のまえから、社会運動としての陣地戦を地域でつくり出すことを目的に牛乳の共同購入に取り組みました。陣地戦のためには人を組織するだけでなく、その組織を永続できるような事業体が必要だという認識からのことでした。そして、共同購入事業だけでなく、地方議会に議員を送り出す代理人運動や、もう一つの働き方を実現するワーカーズ・コレクティブ運動をつくり出し、また、地方自治体のレベルで地域評議会をつくって、生協本体と連携した陣地戦を闘ってきたのです。これらの運動が、創業者たちが構想し期待したほどには成果をあげられなかったことについて、今世紀になって、彼らが検討を始めるようになってきていました。私はこの時点では自身の運動ではないこともあって、あまりピンと来てはいなかったのです。しかし、コロナ禍で自分自身の活動を振り返る時間が生まれ、検討してみると、陣地戦の闘い方に関してまるで無知だったことに気づかされたのです。この気づきをみなさまと共有すべく、陣地戦研究会京都を立ち上げ、研究会を始めたいと考えています。この研究会の記録ができましたので、それをもとに、縮小社会研究会でも意見交換の場をもちたいと考えています。

日時：2月20日 13:30～（90分）

ところ：オンラインZOOM（無料）

Zoom ミーティングに参加する

<https://us02web.zoom.us/j/82952157605?pwd=WmFldGNCTWg4ZWYzckF2aFAxNE93QT09>

ミーティング ID: 829 5215 7605 パスコード: 813024

主催：一般社団法人「縮小社会研究会」

参加登録：非会員の方は松久 (h.matsuhisa@shukusho.org) まで氏名と所属などをお知らせ願います。